

| | | | | | | | | | |
|----|----|-----|---|----|---|----|-----|----|--------------|
| 科目 | 被服 | 単位数 | 2 | 学年 | 3 | 学級 | A~H | 学科 | 普通科 国際教養科 |
|----|----|-----|---|----|---|----|-----|----|--------------|

| | |
|------------|---|
| 学習の到達目標 | 1. 被服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得する。 2. ものを作る喜びを知り、創造的かつ主体的に衣生活を営む能力と態度を身につける。 |
| 使用教科書 副教材等 | ファッションデザイン 実教出版 |

| 学期 | 月 | 学習項目 | 学習内容の説明 |
|----|--------|--|--|
| 前期 | 4 | 1. 被服製作の基礎 ①基礎縫い | ・基本的な縫製技術(手縫い)を習得する 並縫い、すくい留め 三つ折りぐけ、耳ぐけ、本ぐけ、等 |
| | 5 | 2. 和服の製作(ゆかた) (1)裁断 | ・基礎縫いの実技テスト実施 ・和服の各部分の名称、寸法及び適切な見積もり方、柄合わせの方法などを知る ・平面構成に関する基礎的な知識・技術を習得し、浴衣の製作をする |
| | 6 | (2)縫製 ①縫い代の始末(ジグザグミシン) | ・洋服生地を利用したカジュアル浴衣を製作する ・ミシン縫いと手縫い併用 |
| | 7 9 | ②背縫い・おくみつけ ③脇縫い ④衿下・裾の始末 ⑤衿作り ⑥衿つけ | |
| 後期 | 10 | ⑦袖作り ⑧袖つけ | |
| | 11 | ⑩縫い代の始末 ⑪仕上げ | ・袖つけ部分や三八つ口などを手縫いで始末する。 |
| | 12 | (3)浴衣のたたみ方 3. 小物制作 (1)巾着作り | ・和服の手入れの仕方、たたみ方などを習得する ・浴衣の余り布を利用して巾着を製作する。 |
| | 1 | 4. 手芸 (1)編み物 | ・棒針編みの基礎を学ぶ |
| | 2 3 | ①作り目 ②ガーター編み ③メリヤス編み ④一目ゴム編み | |

| | | |
|--------------|--|--|
| 評価の観点及び評価の方法 | 関心・意欲・態度 | 積極的に授業に参加し、学んだ内容についてさらに発展・研究しようとしているか。 忘れ物や遅刻などしないで、与えられた課題にまじめに取り組んでいるか。 |
| | 思考・判断・表現 | よりよい衣生活について、主体的に取り組む態度が身についたか。 学習内容をきちんと理解し、実践できているか。 |
| | 技能 | 縫製技術について習得し、完成度の高い作品を仕上げることができたか。 小物製作においてデザインの工夫がなされているか。 |
| | 知識・理解 | 人体と被服構成の関係や、適切な材料の選定などについてきちんと理解しているか。 |
| | 評価方法 | ・作品製作への取り組み状況、創意工夫、作品の完成度等について総合的に評価。 ・基礎的な縫製技術について、実技テストを実施。 |
| 担当教諭から | 授業時間を有効に使って製作に取り組んで下さい。(遅刻厳禁) 授業時間中に終わらない課題については放課後や宿題になります。提出期限を守ること。 | |